

沿岸定線観測速報 ちば (2019年8月)

千葉丸：8月2～4日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

令和元年8月26日

黒潮は、犬吠埼沖でやや離岸して北東に流れていました(図2)。

水温は、銚子・九十九里, 外房いずれも平年並でした(表1)。

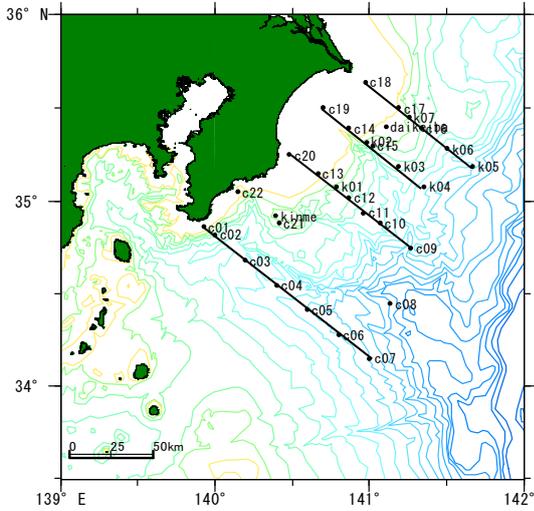


図1 調査点 (C7~9 及び K1~7 は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼ライン

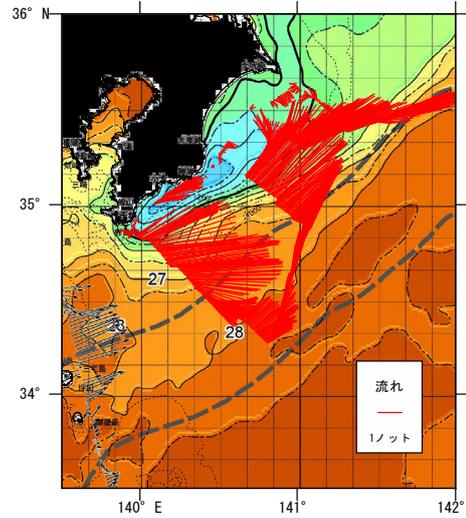
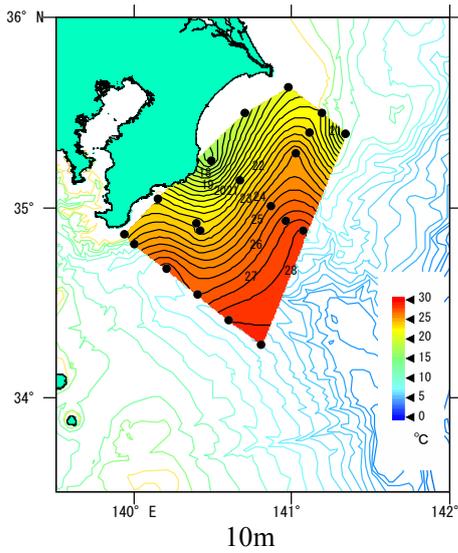
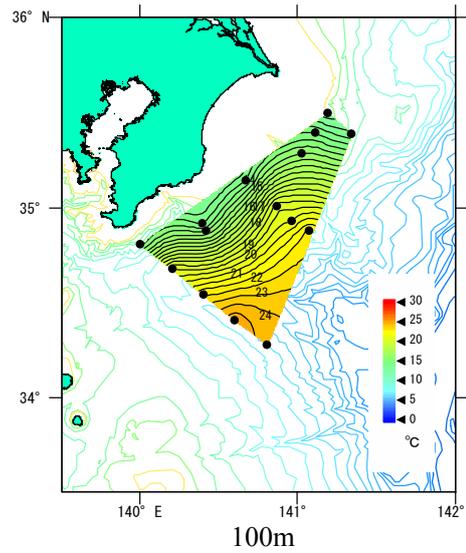


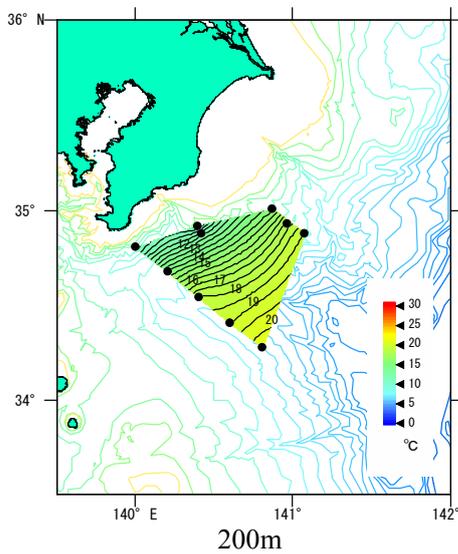
図2 観測時の海況



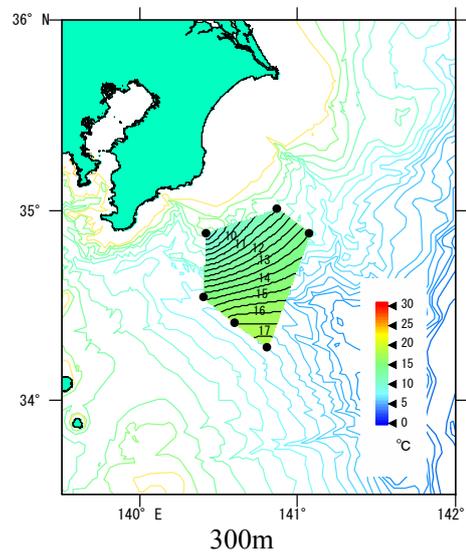
10m



100m



200m



300m

図3 水深別の水温分布

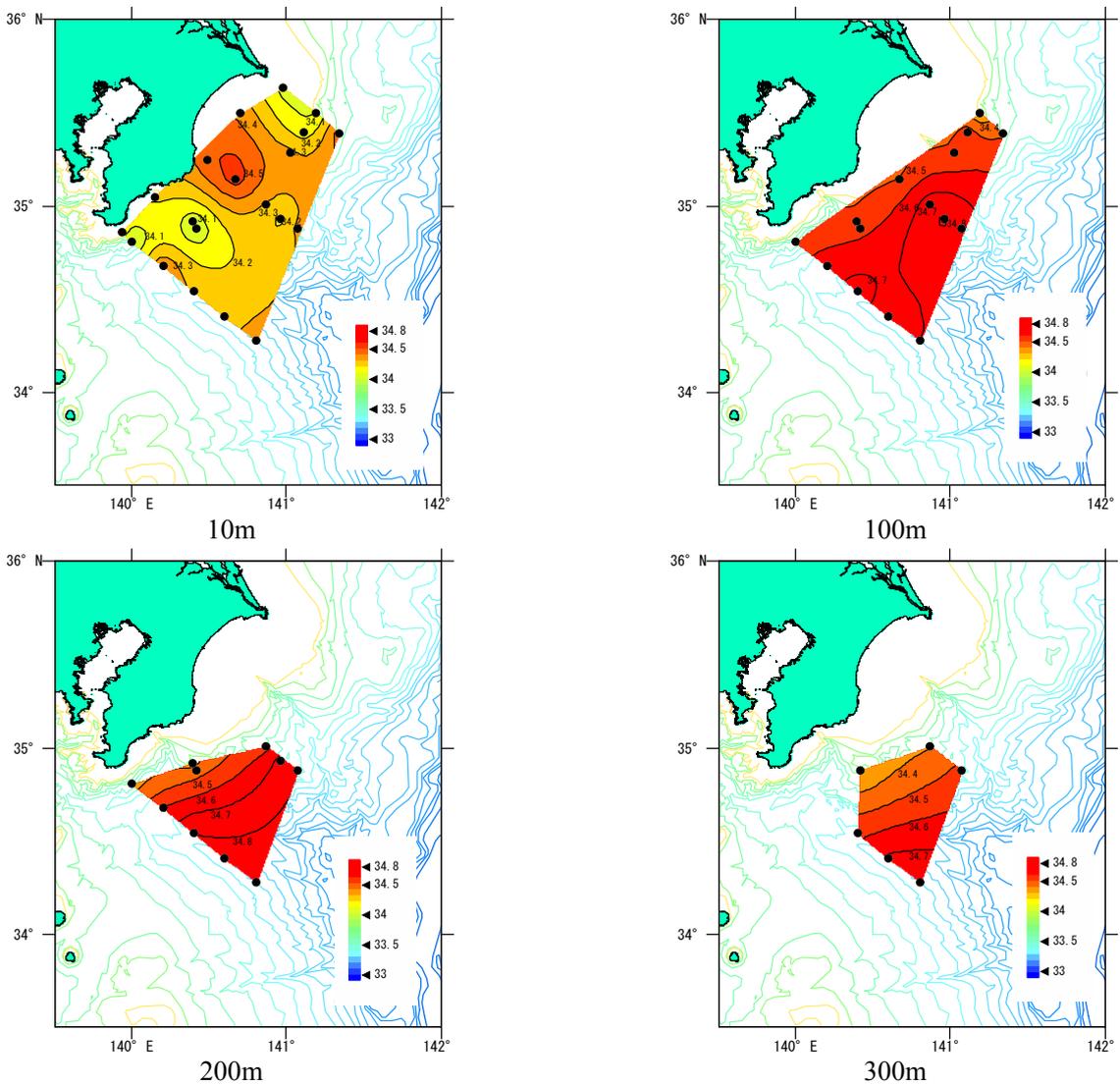


図4 水深別の塩分分布

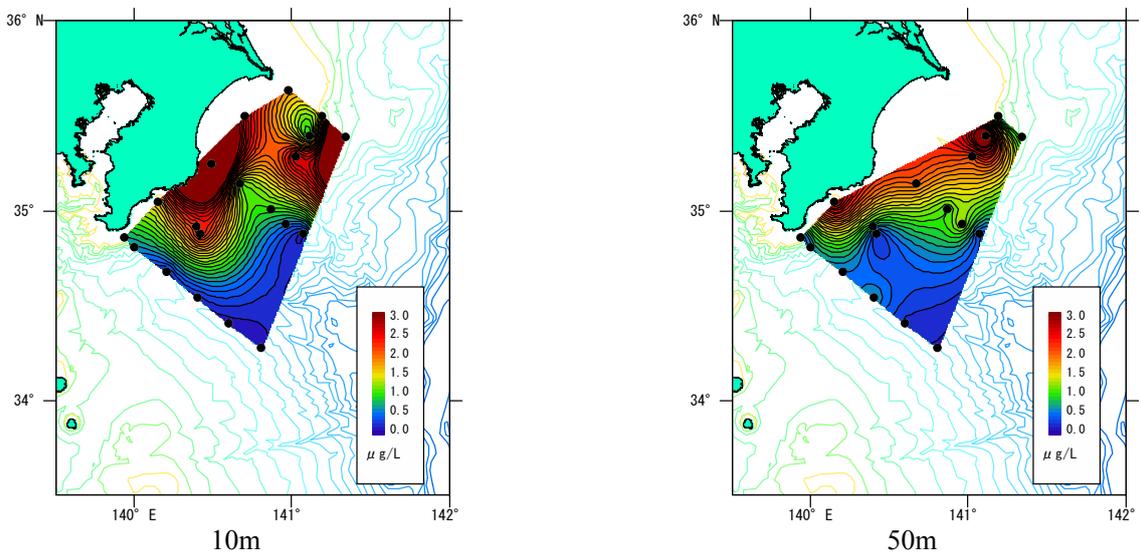


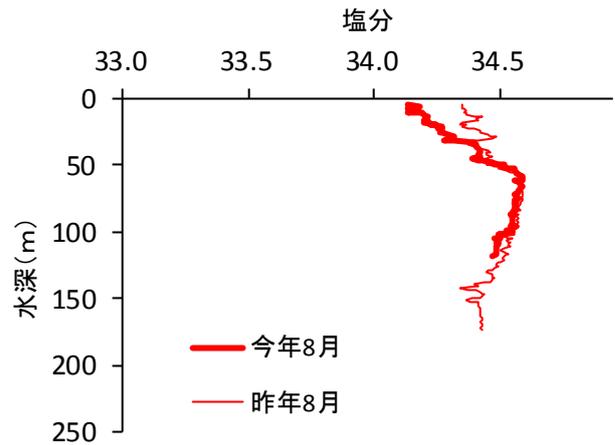
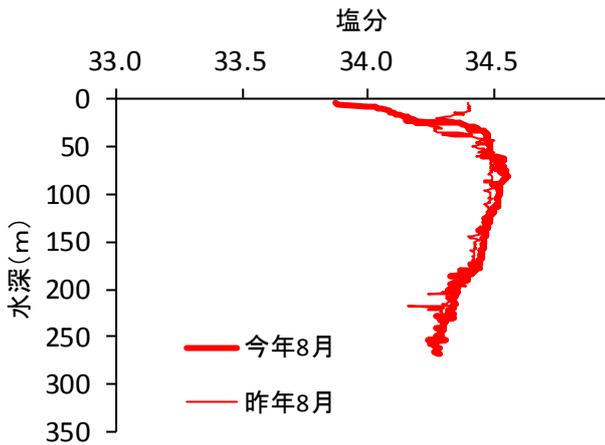
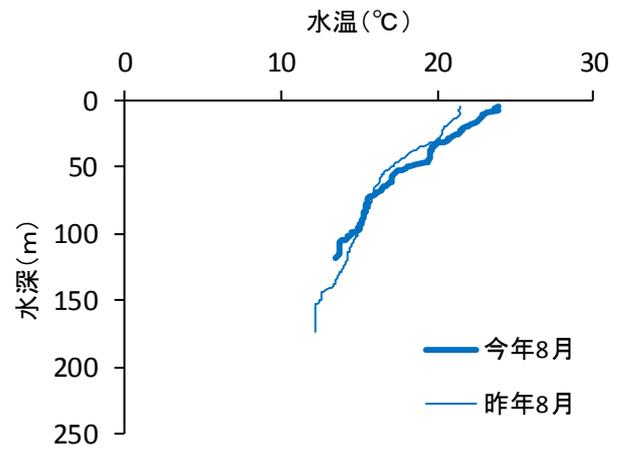
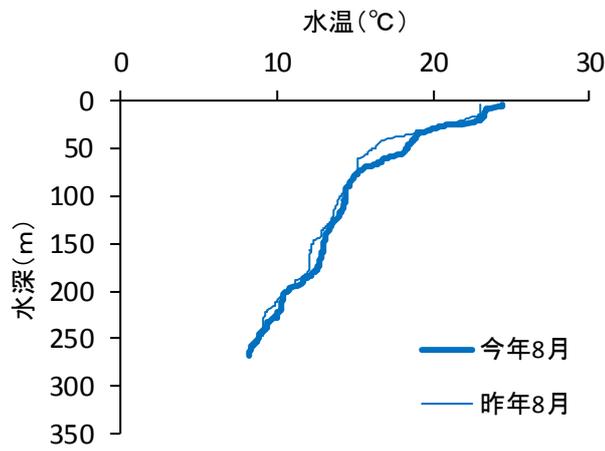
図5 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)

海面の流況は、ごく沿岸は緩やかでしたが、沖には東～北東へ向かう速い流れがあり、犬吠埼～九十九里沖では4～5ノット達する流れが見られました(図2)。

海面の塩分は犬吠埼沖と外房沖で34.2以下と低めでした(図4)。一方、太東岬沖や野島埼沖の水深50m以深には黒潮系の高塩分水が100～300mの厚みを持って分布していました(図7)。

クロロフィルは、沿岸で多く、沖で少なめでした(図5)。

キンメ場の水温は、勝浦沖、銚子沖いずれもおおむね去年並でした(図8)。



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	23.6 平年並	18.1 平年並	14.5 平年並	12.5 平年並
外房	26.0 平年並	19.9 平年並	17.8 平年並	15.3 やや高め

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安

きわめて高め	2.0 σ ~	
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ	
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ	
平年並み	0 ~ 0.6 σ	
平年並み	0 ~ -0.6 σ	
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ	
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ	
きわめて低め	-2.0 σ ~	(σ : 標準偏差)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2 ; 8月2日分)